

# 消防防災科学技術高度化戦略プラン

安全が誇りとなる国 ― 世界一安全な国・日本を実現

平成19年2月

総務省消防庁

## 目次

はじめに

### I 消防防災科学技術に関する研究開発の現状・認識

### II 消防防災科学技術の高度化に対する基本的な姿勢

- 1 研究開発の推進
- 2 消防防災科学技術の高度化に資する人材の育成等
- 3 情報の共有化と啓発・普及
- 4 産学官等の連携体制・組織の充実強化

### III 消防防災科学技術の高度化の戦略プラン

- 1 重点的に取り組むべき研究開発課題の設定
- 2 消防防災科学技術の高度化に資する教育体制の充実
- 3 情報の共有化と啓発・普及の推進
- 4 推進体制の充実強化

### IV 分野別の戦略プラン

- 1 火災予防・防火技術
- 2 防災・減災対応技術
- 3 防災情報・通信技術
- 4 消火技術
- 5 救助技術
- 6 救急対応技術
- 7 危険物施設等保安技術
- 8 特殊災害対応技術
- 9 国民保護・NBC災害対応技術

### V 資料

消防防災科学技術高度化戦略プランに対するニーズ調査結果

## はじめに

近年の火災等の災害は、大規模化・特殊化する傾向にあるとともに、今後、NBC災害や過密都市災害など新たな形態の災害発生が懸念されることから、消防に対して、ファーストレスポンドー（**災害発生を受け現場で第一に対応する者**）として迅速かつ高度で効果的な消防防災活動を展開することが強く期待されている。さらに、東海、東南海・南海地震や首都直下地震等の地震については、その切迫性に加え、発生した場合の被害が深刻であることが予測されており、消防力を最大限に発揮し、災害の防止や被害の軽減をより効果的に行うことが期待されている。

このような国民の期待に応えるためには、新技術等を消防防災分野における科学技術に積極的に導入するための研究開発が極めて重要であり、より災害現場等に密着した実践的な技術開発・応用研究を行い、その成果を消防防災活動等に積極的に利活用することが必要である。

このため、消防防災科学技術の高度化を産学官における消防防災関係者の力を結集して推進する必要があり、今後における消防防災科学技術に係る研究開発に携わる関係者の共通の認識・目標を「消防防災科学技術高度化戦略プラン」として策定したものである。

なお、本戦略プランについては、「消防防災科学技術高度化戦略プラン」（平成13年11月）を、第3期科学技術基本計画（平成18年度から平成22年度まで）に基づく国全体としての科学技術の推進戦略との整合を図りつつ、火災等の災害の状況、日々刻々と進化する科学技術等の動向を踏まえるとともに、消防防災科学技術の研究開発等の状況をも考慮して改定したものであり、今後も適時見直すこととする。